

2017.7.30

祝・白山開山1300年!!

白山連邦最高峰 御前峰登頂!!

\\ (**^*) /



今から6年前の、2011年7月30日は

NMCAAに入会して、初めての白山登山の日でした!

NMC (新宇宙) の核心であり

あらゆる全ての命の源 (母神)、一なる至高の根源太陽

“根源天照皇太神”

その分身である、白山の女神に導かれ、登った日でした

根源天照(太陽)神界と、白山神界を結ぶ

白山菊理姫太神

2017年7月30日の登山は

私にとって、大きな決断を有するものでした

2017年は、開山から1300年という、大きな節目の年
1300の柱(全神界)、全天界が、今ここ“中今”で、一つ！となる時！！

7月1日の夏山開きに向けて、どうしても

もう一度、白山に登りたい！と思い続けてきましたが

2017年になって退職を決意するまでの、僅かな期間で体調を崩し

自宅の階段の上り下りも、ぎこちない日々が続いていました

今の私に、登れるだろうか？

他の誰かに、迷惑をかけるような事があってはいけない… 葛藤の日々でした

けれど、あと何日待てば、回復するのでしょうか？

もしかしたら、もっとひどくなってしまう事も、あり得るのでは？

やってみるしかない！！

2011年と同じ、7月30日と決め、全高次に言挙げし、祈り

白山の頂上ですべてと共に“根源の愛”を叫ぶために

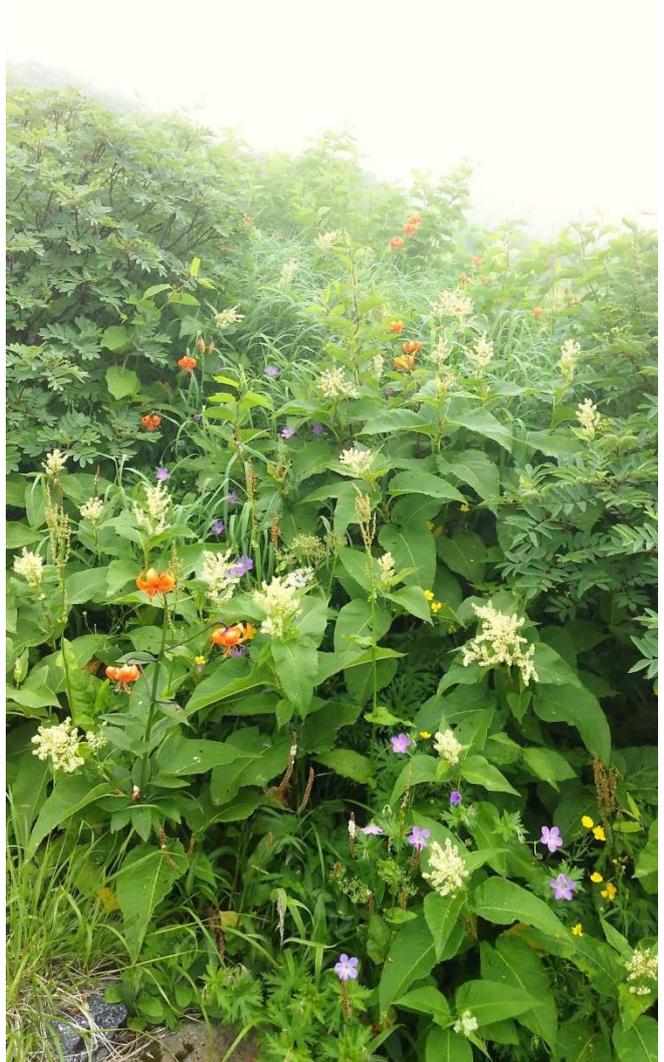
エネルギーワークを、続けてきました

登山が好きな方や、体力に自信のある方に
笑われてしまいそうですが、私にとっては、まさに命がけ！
自身の“**霊・魂・体**”、“**ハートと魂と心臓**”
全てを捧げる気持ちでした

交通規制日のため、途中でシャトルバスに乗り換えました
登山の間は、曇り時々雨の天候で
唯一、このバスの中で、凄まじい光を放つ太陽を観ました
眩しさが異様？とさえ感じられ
「太陽はいつもここにある事を、決して忘れるな！！」
そう言われているような気がしました

私は根源太陽のポータルとなって
根源の究極の愛の光で、地球全てを包む、日戸になりたい！！
尊い白山に登らせていただいて、ありがとうございます！
思いは、それだけです
(*^^*)

辺りは霞がかり、とても神聖な感じがしました
青々と茂る木々、色とりどりに咲く、小さな可愛い花々
すぐ傍で聞こえる、澄んだ鳥のさえずり、清々しい水の音——
みんなが、私を支えてくれました^^



登る速さや距離は一切考えず、とにかく前に足をだす事！

イメージ通りに足が上がらず、崖から転げ落ちそうな恐怖を感じたり

雨に濡れた斜面で何度も転び、ヒヤツとしたりでした

足をひねってしまったら、もう終わりです

たくさんの登山者がいましたが、たった一人になる時間も多々あります

そんな時は、大自然をより近くに感じ、心が研ぎ澄まされていくような気がしました

宿舎のある室堂までは、まだまだ。。。途中、大きく転倒してしまい

心臓がドキ！としたのを感じたのですが

そこから、そのドキドキがずっと続いている気がします^^;

手がしびれる、頭が痛い、なんだかおかしい…

嘔吐と下痢が同時にくるような感覚で、ひどく気分が悪くなり

このまま心臓が爆発するのかも？と思ったとき

この登山に向かって、自身がしてきた誓いを思いだしました

「私のすべて、心臓を捧げます」

そっか、その通りだ——

と思ったら、気持ちの動揺が、消えていきました

自分がした約束だから、それでいい—— と思えたのです

ここに立ち止まっている事はできない、頂上を目指すしかない！

「倒れたら、ごめんなさい。。。」 心の中で、そう言うしかありませんでした

室堂の手前にある、なだらかな道の広がる弥陀ヶ原へと出ました

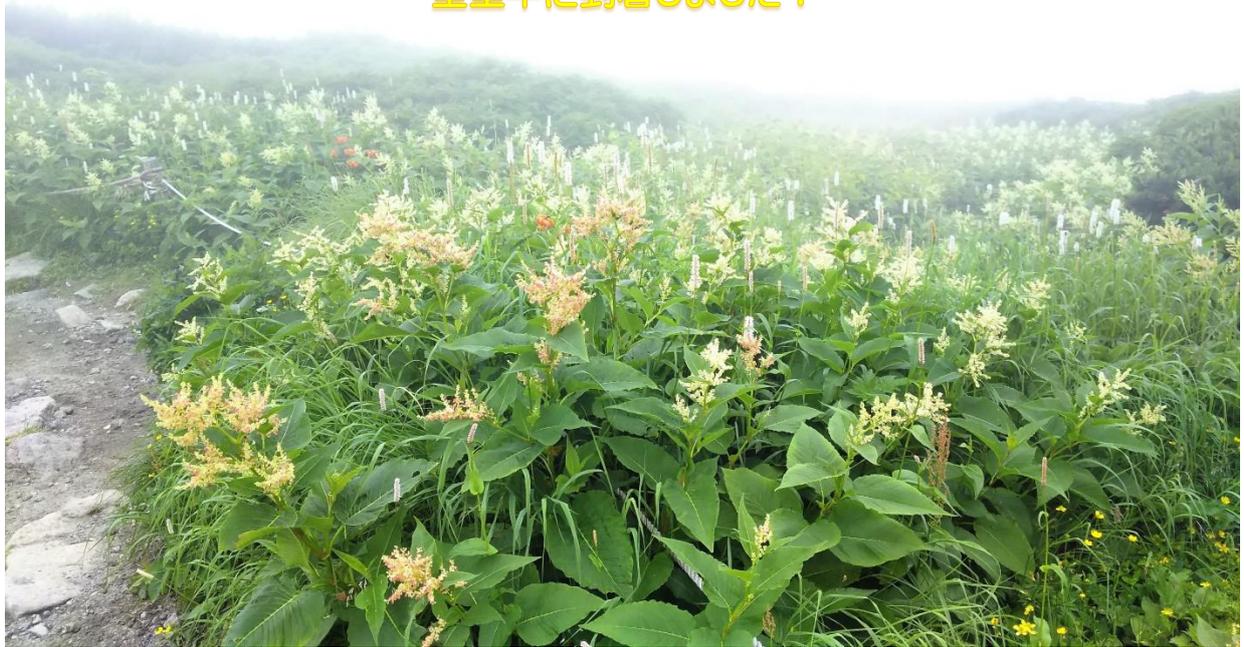
あれっ、ここは天国？ 時空が変わった？！

空にお日様は見えませんが、その場全体が太陽そのもののような

すごく明るい光の世界を感じます

靴ずれの、リアルな足の痛みがなければ、
そのまま天に吸い込まれていったかも？かもしれません

室堂平に到着しました！



白山奥宮祈禱殿です

私が到着した時は、まだ扉が閉まっていた、少しがっかりでしたが
一礼し、いよいよ頂上へ向かって、最後の行程です

この登山のはじまりに、私にとって、

これ以上の恐怖はない、と感じるほどの、ある思いに囚われました

それは

もし、頂上に何もなかったら？ です

全てが、自身の思い込み、幻でしかなかったら——？

こんなに苦しい思いをして、私は一体何をしようとしているのだろう？

そう考えると、足が一步も前に出せなくなってしまう

心は、体でした

これまで、何の為に生きてきたのだろうか？ 様々な事が思い出されてきます

.....

そんなはずはない！！

確かに、何度も疑い、信じることに挫折し、泣き喚きながらも

決して消えることのなかった

自己の真実 = **“魂”**の叫び！！

天(根源)と地(地球)をつなぐ、**“究極の愛”**の絆

= **根源太陽母神の“分御魂”**

—— 根源の岩戸が開く時 ——

天の時に来て、魂＝“神”を、より近く感じる事が出来るようになりました

2011年の白山登山では

登頂と同時に神事がはじまる——、という素敵なサプライズが起こり

その日の出来事を綴ろうと、開いたワード画面から、

白山の女神の、悠久の、深い慈愛を象徴するかのような

たくさんの“白いハート”が、次から次へと飛び出してきた——

そんな不思議な、おとぎ話のような出来事、体験＝“真実”のはじまりでした^^

2015年の登山の時には

ずっと曇っていた空ですが、下山を始めようとした瞬間、

虹に囲まれた巨大な太陽(太陽神界 UFO?)が、頭上間近に現れました！

まわりの方の大歓声とともに、鮮やかな記憶となって蘇ってきます

あちこちに美しい虹が現れていて、大自然＝神々の喜びを、全身で感じました

それ以外にも

2011年11月、はじめて訪れた平泉寺白山神社参道石畳は

今この時のために「準備されていた！」と、全細胞が理解する、胸躍る、勇壮なる道

地球と宇宙の未来のために、積み重ねられた至誠(愛・誠)の礎

“根源の究極の愛の光の道”

2012年10月天孫降臨の地、霧島における

NMCAAセミナー(神事)へと出かける日の朝、

目の前に現れた美しい虹のアーチに誘われるように、自然と一体化し

辺りを埋め尽くしている、神々の「新しい神話の幕開け、根源の岩戸開き」を祝う

“大歓喜の嵐”を、全身全霊で受け止めた時の事

“不思議”としか、表現する言葉はないのかもしれないけれど、

真の自分(魂)が確かにしっている、希望と喜び、愛・光！の未来世界がある！

それが、神・人一体の世

根源天照皇国(日の本)を核心とする

根源の究極の愛と光の“新(真)地球”創生

愛の“地球維神！！”



その道を示すために、寄り添い、ここまで導いてくれた神々の思いを

私は絶対に、忘れない！！

今回の登拝は、赤い十字架を背負って
頂上へと登る“キリスト”のイメージでした

赤い十字架とは

地上から根源へと上る、揺るぎない“愛の意志の第一光線”の柱 = 縦軸と
全宇宙の“愛の願い”(宇宙核心のネットワーク) = 横軸を
地上セルフの中心“ハート、魂、心臓”にくくる聖誓

頂上で待つ(上がった所まで降りてくる)、全ての神々、全天界と共に起こす

根源の愛の宇宙大核融合!!



あらゆる全ての、悠久の、愛の願いを叶える!!

室堂から頂上へと上る途中に

背の低いハイマツの木に囲まれた道があります

その赤い花が、気品高く、美しい輝きを放っていたので、

話しかけるように

携帯レンズから、覗き込みました (*^^*)

なんだか、絵画を観ているような

幻想的な世界に、引き込まれていく感じがします

現実と、そうでないものの境界は、

どこにあるのでしょうか…



ハイマツの間の狭い道を抜けると、視界が開けてきました

この道は、どこまで続いているのでしょうか。。

ただ、一步一步、進みます

見覚えのある、石塀が目に入り、頂上に到着したことがわかりました



ありがとうございます！！



今にも倒れそうでしたが、座ると起き上がれない気がして

塀にもたれかかり、参拝の準備です

つて、お賽銭だけですが、何故か、もたもたです(笑)

ではありますが、

感謝の御礼と、根源の皇の宣誓

3つの願いを叶えるための要望を、宣り上げました！



ドン！！！！

白山は、根源へとつながる山！ 奥宮様は、根源の岩戸！

“天人地”の全てが揃い、いよいよその扉が開く！！！！



頂上を示す碑、一等三角点(根源の三位一体)の所へ行き



一緒に登った、地上で2番目に生まれた、根源太陽の子供“ハム ”と並んで
(お腹には、丸いクリスタル(地球さん)を抱えています^^)

中心に全てを集め

“根源の究極の愛”を叫びました!!

何故、愛を大声で叫ばなければならないんだろう。。。

と、この頃、本当に思うのです

愛でないものなど、何一つなく

もう、誰も(=自分)傷つけたりしないでいいんだよー!!って

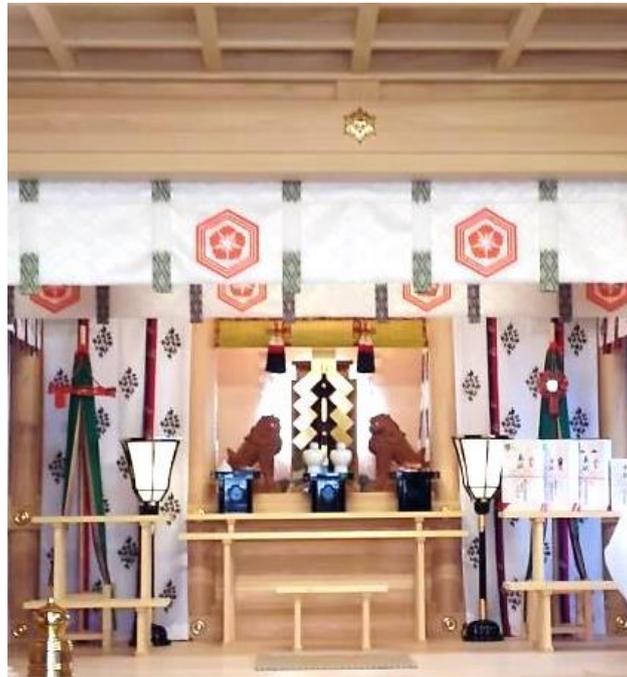
みんなに、世界中に、心から言いたいのです

愛だけだよ、愛に帰ろう!!!

ってね! (*^^*)

さあ、頑張って降りなければ。。。

上ったまま降りてこなかった風船の思い出は、悲しすぎました——



帰り道、開山1300年にあわせて建て替えられた
新しい奥宮祈祷殿の扉は、開かれていました！！！！

(*^^*)

下山途中に、黒い衣と白いズック？で登ってくる

若いお坊さん集団に出会いました

元気そうで羨ましい～、でも、きっと修行だから、大変かな。。

と思っていると、少し色の違う衣装をまとった

位の高そうなお坊さんと目があい、思い切ってお尋ねしました

「どちらの方ですか？」

少しの間後、「私たちは、永平寺です」との、お返事をいただき

何だか、嬉しくなっていました

以前、福井県にある平泉寺白山神社へ行こうと、車で自宅を出発したのですが、

何故か呼ばれるようにして、曹洞宗大本山永平寺へとたどりつきました

永平寺と白山神社、何か関係があるのかしら？でしたが

とても立派なお寺で、呼んでいただいた事に感謝でした！

境内の奥にある、開祖道元禅師が出家を決意した時の姿、少年像から

真っ直ぐに、物凄いエネルギーが出ているのを感じて

思わず、その正面にあった鐘樓の鐘を、

叩き鳴らしてしまった記憶があります^^

何だか、飛び入り参加した歌舞伎役者？のような気分でした(笑)

その日帰ってから調べてみると、『道元禅師が宋から帰る際に

白山権現が、禅の法典<碧巖録>の写経を手伝ってくれたことにより

永平寺は、白山権現を守護神・鎮守神としている』とありました！

やっぱり見えない世界でつながっていて、導かれていることを、改めて感じます

私は、高僧としての道元禅師ではなく、少年の心に共鳴したのですね

下山しながら、もともと一つであったものへと、再び帰っていく——

そんな気持ちが出てきました (**^^*)

最終バスに乗り遅れたら大変！と、焦る中

恐れていたことが、起きてしまいました

途中に、何故か私にとって要注意！！の、分かれ道があるのです

もと来た道とは違う、「南竜山荘」という所へと続く道です

もはや私には、1ミリの体力の余裕も、時間もありません

降りるはずなのに、登っている？けど、こんな箇所もあったような。。。で



もう限界、勘弁して～～と思いながら、進んでしまう道——？

大抵、途中の標識で気付くのですが、

一度だけ、山荘まで行ってしまったことがあります(+_+)

自分で自分に呆れてしまいます

そして、もう二度と白山には登らない！と思うのです。。

今回も、絶対にそうならないように、何度も標識を見直して

注意していたつもりなのに。。

もお～～、だれか、標識隠したでしょう？！(笑)と、泣きたくなりましたが

ふと、「南竜さんも、いっしょに、根源に帰りましょ！^^」

という思いと共に、心に光が溢れ、雨のち晴れ！へと変わりました！！



起こった事は終わった事、今どこへ向かいたい？

太陽はいつも、私達の前を照らしてくれる^^

この橋の向こう側には、虹色のゴールテープが見えている！！

今回の登山では、特に不思議はありませんでした

それが、逆に不思議でもあったのですが

残ったのは

真に、地上セルフがやり切った！！

限界に挑戦し、もう悔いはない！！という“自信”

=自分自神！！

これこそが、究極の不思議、かもしれません！！

朝、バスの中でみた眩しい太陽！

私はずっと、あの

“根源の太陽”と一つに
つながっていた！！

今、そうわかります

(*^^*)

∞の感謝を込めて 2017.8.1 善美 rumines